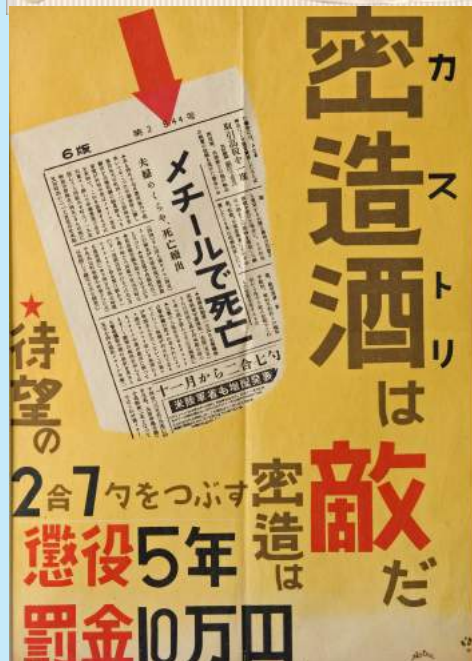




写真提供：上右・徐成連さん 上左・趙良葉さん



戦後、在日朝鮮人は日本の植民地支配から解放され、南北に分かれましたが、それぞれに祖国をもち、朝鮮人・韓国人として歩み始めました。しかし、日本人の朝鮮人・韓国人蔑視・差別は変わりませんでした。

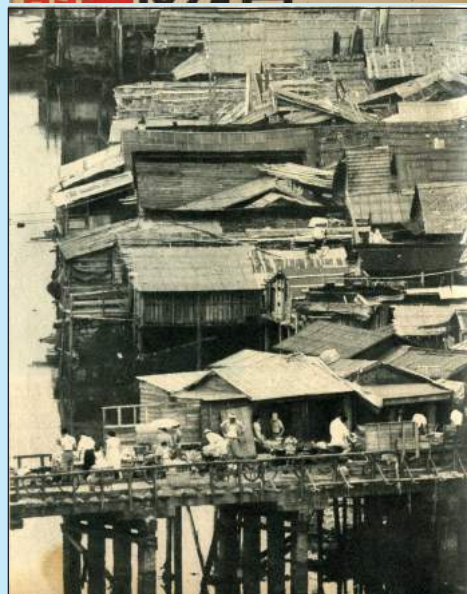
植民地下、朝鮮での生活基盤をなくして日本に来た人が多く、帰るあてのない人もいました。朝鮮語を話せない子ども達を安易に連れて帰れなかったのです

日本人ではなくなった在日朝鮮・韓国人は仕事を見つけることは困難でした。

日本で在日朝鮮・韓国人として生きるために朝鮮学校を造り、生活の糧を細々とした食糧の取引(闇市)の中で暮らし始め、その後、遅く仕事の範囲を広げ現在に至っています。

朝鮮人・韓国人はその生活の中から平和運動、人権・生活権擁護、民族教育と同時に安定した生活を築くための活発な活動を繰り返してきました。

本展示はそうした朝鮮人・韓国人の姿から多くを学ぶことができると考え、戦後を遅く生きた6人の姿を写真と語りで構成しました。



写真提供：上・下 在日韓人歴史資料館

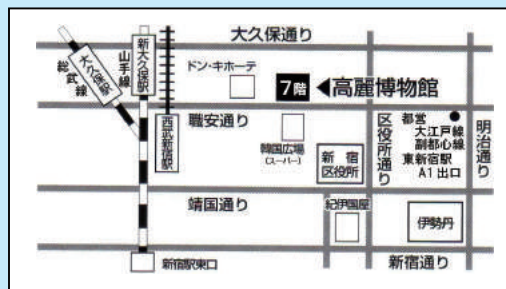
4月4日(水)～7月1日(日)

入場料：400円・中高生200円

開館時間：12時～17時

休館日：月曜日・火曜日

会場：高麗博物館



市民がつくる日本・コリア交流の歴史博物館

高麗博物館
고려박물관 KOREA MUSEUM

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-12-1
第2韓国広場ビル7階

TEL:03-5272-3510 FAX:03-3207-0533

●JR 新大久保駅・大久保駅徒歩 10分

●西武新宿線西武新宿駅 徒歩 6分

●地下鉄大江戸線・副都心線東新宿駅 徒歩 5分

在日韓国・朝鮮人の戦後
語りと写真で見ると